

ウォーキング・ツアーの推進

ヨーロッパ等では、ベルサイユ宮殿やアルハンブラ宮殿などの見学ツアーでは、母国語以外の有料見学ツアーが行われている。定時に出発するもので、観光客は、事前予約、または当日時間待ちをして参加する。また、市庁舎見学やブルゴーニュのぶどう畑の見学等様々な有料ツアーが行われている。

こうしたツアーには、「FITの観光客が自由に参加できる」、「価格もリーズナブルである。」「人数がまとまるので、ガイドの収入が保証される」等のメリットがある。

しかし、日本では、外国語ウォーキング・ツアーについては、定時発のものは少ない。そこで、以下のような外国語によるウォーキング・ツアーを検討・推進・支援する。

- ・東京駅、秋葉原駅、上野駅、浅草駅、鎌倉駅などから、定まった曜日、定時発の2～4時間のツアーとする。
- ・通訳案内士が行い、一人当たり1,500円～4,000円のリーズナブルな価格で提供する。
- ・地元団体や通訳案内士らによる研究会や研修会、実習等を重ね、参加者が楽しめる内容とする。
- ・国の内外で広報を行う。旅行会社等で、チケットを販売する。
- ・こうした取り組みが定着し、毎回5名～15名程度の集客なら、通訳案内士の仕事として、魅力的である。

なお、ウォーキング・ツアーを、「ピンポイント」や「地域ガイド」で十分とする考え方には、疑問がある。こうしたツアーの実施については、特定地域についての知識のみならず、高い語学力、日本文化全体についての幅広い理解力、熟練したホスピタリティが必要とされる。

(事例1) 京都 Hillwalker Tour

JR京都駅集合で、毎週月、水、金曜日。午前10時～10時15分から5時間の歩き。会費は、2,000円。広岡氏のツアーは、有名な観光地を歩くのではないが、大変人気でいつも10～30人程度のお客がいる。ガイドの卓越した力量に負うところが大きい。

(事例2) 鎌倉ウォーキング

日本文化体験交流塾では、2009年、鎌倉地域で以下の研修会を実施し、禅宗や茶室、庭園など、従来のツアーでは対象とされないコースづくりを検討・推進している。

- ①4月14日(火)・5月9日(土) 鎌倉能舞台、高德院大仏、長谷寺、鎌倉文学館
- ②5月15日(金) 水野聡氏講義「禅と茶道、禅と庭園」 報国寺、浄明寺、瑞泉寺
- ③5月25日(月) 建長寺・鶴岡八幡宮・鎌倉彫会館など
- ④6月16日(火) 鎌倉・箱根バス研修 (講師保里陽子氏)
- ⑤7月6日(月) 「刀剣学習会」「建築(円覚寺、浄智寺)」
- ⑥9月11日(金) 東慶寺・浄智寺・明月院など

(事例3) 川越まち歩き

平成22年4月24日土曜日 11時～16時30分

日本文化体験交流塾と日本語学校の連携事業。16か国、47人が参加。4班に分かれて、川越の街を見学した。主な訪問地は、醤油づくり工場、喜多院、成田山川越別院、蔵のまち、菓子屋横丁など。中国語、英語など、通訳案内士4人が案内した。参加者の会費は、1,500円であった。こうした試行を重ねて、通訳案内士の人材育成を進める。

